

武豊町議会議長 石川 よしはる 殿

武豊町議会議員 石原 壽朗

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和7年第4回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項

質問の要旨(具体的にご記入願います)

1. 公共施設の
再編について

【趣旨説明】

令和5年3月に策定された「武豊町公共施設再編計画」は、「武豊町学校施設長寿命化計画」や「第2次武豊町保育園等基本方針・整備計画」などの個別計画との整合を図りつつ、上位計画である「武豊町公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設のうち建築物系施設全体を統括し、その規模等の再編方針を示す計画として位置付けられています。

昨年度には「武豊町生涯学習施設長寿命化計画」も策定され、限られた財源のなかで武豊町全体の公共施設老朽化対策を確実に進めることが重要な課題となっています。

本町では、武豊中央公園南側の広大な町有地を公共施設集積エリアと位置付け、庁舎移転に合わせて保健センターなどの施設を集約する方向で検討が進められています。武豊町役場庁舎整備を中心とした公共交流拠点整備事業に関するサウンディング型市場調査（地方公共団体が民間事業者から意見やアイデアを収集し、公共用地の活用方法を探る調査）も実施され、昨年10月にその結果が公表されています。

また、「武豊町公共施設再編計画」では、町民文化系施設、学校系施設、子育て支援施設、町営住宅などの住居系施設を含む8つの施設分類ごとに将来計画が定められています。その一部を紹介すると、町民文化系施設の図書館については、耐用年数の50年目を迎える2036年度（令和18年度）を目途に、他施設との集約または複合化を含めた建て替え等による更新を検討するとしています。これは庁舎移転を含む公共施設集積エリア整備と同時期となります。

そこで、老朽化が進む本町公共施設の将来整備に関し、以下の4点について質問いたします。

【質問事項】

- ① 公共施設集積エリアについて、サウンディング型市場調査を経て、現在の公共交流拠点整備はどの段階にあり、今後どのように進められる予定でしょうか。
- ② 「武豊町公共施設再編計画」では、砂川会館や多賀授産所が単独整備として計画されていますが、利用者への配慮はもちろんのこと、交通利便性なども考慮した他施設との複合化も時代に即した施策と考えます。公共施設の再編は原則として統合・複合化を目指すべきと考えますが、本町の見解をお聞かせください。
- ③ 「武豊町公共施設再編計画」では、最終評価において「更新・維持（集約）」の象徴的施設として庁舎、保健センター、図書館、味の蔵たけとよ を挙げる一方で、再編・再配置方針では役場および保健センターを公共機能ゾーンへ集約するとあります。図書館の整備についてはどのようにお考えでしょうか。
- ④ さまざまな公共施設の再整備を検討しなければならない現状において、所管部署を越えた再配置などをより効率的かつ効果的に推進をするためには全体をコントロールする組織が必要と考えます。公共機能集積エリア整備を進めるまちづくり推進室はありますが、町全域に広がる公共施設再整備が計画されているなか、今後どのような体制で進めるのか本町の見解を伺います。